

仙台市スポーツ推進計画

概要版

改訂版

2012～2021

1 改訂の趣旨

これまで、本市ではスポーツを通して「私も、あなたも、まちも、みんなが元気になる」ことをめざし、豊かなスポーツライフを送ることができるよう、平成14年10月に『仙台市スポーツ振興基本計画（せんだいスポーツ元気プラン）』を策定し、「する」、「みる」、「ささえる」の3つの柱により様々な施策を展開してきました。

その後、社会情勢やライフスタイルの変化などにより、スポーツを取り巻く環境も変化したことから、平成24年10月、4つ目の柱として新たに「ひろがる」を加えた『仙台市スポーツ推進計画』（以下「本計画」）を策定し、更なるスポーツ推進に向けた施策に取り組んできたところです。

この度、策定から5年が経過したことから、施策の進捗状況や社会情勢、市民ニーズの変化を踏まえて必要な見直しを行うとともに、今後5年間に取り組む施策や平成33年度における数値目標を示します。

2 計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第10条の規定に基づく『地方スポーツ推進計画』に位置づけられるもので、国の『スポーツ基本計画』や『仙台市基本計画』、『仙台市政策重点化方針2020』を踏まえ、他の関連計画と連携した、本市におけるスポーツ推進の基本となる計画です。

3 計画の期間

本計画は、国の『スポーツ基本計画』の期間に合わせ平成24年度から平成33年度までの10年間を計画期間として策定しています。

見直し後の具体的な施策や数値目標については、平成29年度から平成33年度までの後期5年間の内容とします。



基本理念

人とまちの元気をはぐくむ「スポーツシティ仙台」

基本目標

する

- ライフステージに応じたスポーツ活動への参加機会の拡大
- 身近で利用しやすいスポーツ環境の整備

みる

- 大規模スポーツイベントの開催・誘致
- プロスポーツ等への地域密着支援
- スポーツに関する情報提供の充実

ささえる

- スポーツボランティアや指導者の育成・支援
- プロスポーツ等や企業、大学との協働によるスポーツの支援
- 顕彰によるスポーツ活動の応援

ひろがる

- スポーツを通じた絆づくりと共生社会の実現
- 市民相互の交流や国内外との交流の促進によるまちの活性化

『せんだいスポーツ元気プラン』の柱である、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」を継承し、これをさらに推進することで、スポーツ活動が人から人へと世代を超えて広がり、様々な交流へとつながっていくことを目指して、新たに「ひろがる」を加えた4つの柱で、本市のスポーツの推進に取り組みます。

今後5年間に取り組む施策

基本理念である、人とまちの元気をはぐくむ「スポーツシティ仙台」の実現に向け、「する」、「みる」、「ささえる」、「ひろがる」を4つの柱として、様々な施策を展開していきます。

「する」スポーツ

◆ I ・ 生涯スポーツの推進

1 地域スポーツ活動の継続と参加型イベントの開催・支援

- ◆ 市民参加型イベントの推進
- ◆ 地域スポーツ大会の開催・支援
- ◆ マイタウンスポーツ活動※の推進
- ◆ 総合型地域スポーツクラブの活動支援

※マイタウンスポーツ活動
学区民体育振興会をはじめ、スポーツ少年団や各競技団体、総合型地域スポーツクラブなど、地域で行われている様々なスポーツ活動

2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- ◆ 高齢者の各種スポーツ大会の開催支援及び参加促進
- ◆ 女性や働く世代、子育て世代向けプログラムの提供
- ◆ 年齢や生活の変化に応じて運動やスポーツができる環境づくり

3 障害者のスポーツ活動の支援

- ◆ 障害者の各種スポーツ大会の開催支援及び参加促進
- ◆ 障害者向けプログラムの提供、スポーツ・レクリエーション活動の推進
- ◆ 障害のある人もない人も、ともに運動やスポーツができる環境づくり

◆ II ・ 競技スポーツの推進

1 将来性を有するジュニアアスリートの支援

- ◆ 高いレベルの競技者や指導者による指導機会の拡大
- ◆ 子どものスポーツ志向の醸成

◆ Ⅲ・学校体育との連携

1 子どもの健やかな体の育成へ向けた取り組み

- ◆ 全児童生徒を対象とした体力・運動能力調査の実施
- ◆ 児童生徒用運動啓発資料の作成などによる運動の日常化を図る環境づくり
- ◆ 子どもを対象とした体力向上プログラムの提供

2 学校体育授業の充実

- ◆ 指導方法・指導体制を工夫した体育授業の実践
- ◆ アスリート活用事業（アスリートによる授業支援）の推進

3 学校における部活動支援

- ◆ 運動部活動への外部指導者派遣事業の継続

◆ Ⅳ・スポーツ環境の整備・検討

1 身近なスポーツ活動の場の設定・検討

- ◆ ジョギングコースなど身近な場所で運動やスポーツができる環境の確保
- ◆ 学校施設開放事業の推進
- ◆ 近隣市町村及び民間スポーツ施設の活用の検討

2 効率的・効果的なスポーツ施設の整備保全

- ◆ 既存施設の改修計画の策定
- ◆ 施設の長寿命化を図るための計画保全の実施
- ◆ 民間活力の導入も視野に入れた施設整備のあり方の研究

3 利用しやすい施設サービスの検討

- ◆ スポーツの総合案内窓口の運営
- ◆ スポーツ情報の収集・発信の充実
- ◆ 施設利用者の交流・情報交換の場の提供



みるスポーツ

◆ I ・ 大規模スポーツイベントの開催・誘致

1 大規模スポーツイベントの開催

- ◆ 仙台国際ハーフマラソン等の開催
- ◆ 全日本大学女子駅伝、実業団女子駅伝の開催

2 大規模スポーツイベントの誘致

- ◆ 全国規模以上のスポーツイベントの誘致
- ◆ トップアスリートが参加する合宿の誘致

◆ II ・ プロスポーツの観戦機会の拡大

1 プロスポーツチーム等への地域密着支援

- ◆ 仙台に本拠地を置くプロスポーツチーム等※の支援
- ◆ プロスポーツ選手等との触れ合いの場の提供

※プロスポーツチーム等
ベガルタ仙台
マイナビベガルタ仙台レディース
東北楽天ゴールデンイーグルス
仙台 89ERS 仙台ベルフィーユ
ヴォスクオーレ仙台

(H29. 4 現在)

◆ III ・ スポーツに関する情報提供の充実

1 スポーツに関する情報の発信

- ◆ 地域で開催されるスポーツイベントに関する情報の発信
- ◆ 出場選手に関する情報の発信



ささえるスポーツ

◆ I ・ マンパワーの養成と活用システムの構築

1 スポーツボランティアの育成・活動基盤構築

- ◆ スポーツボランティアの養成講習会の実施
- ◆ スポーツボランティア団体等のネットワークの構築
- ◆ 「ちょこボラ」※の推進

※ちょこボラ
ボランティア活動へのきっかけづくりとして、気軽に、時間などにあまりとらわれずに「ちょこっと」できるボランティア

2 スポーツ指導者の育成

- ◆ スポーツ指導者に対する講習会の実施
- ◆ 地域スポーツ指導者の育成・活用

◆ II ・ プロスポーツチーム等や企業、大学との連携

1 プロスポーツチーム等や企業スポーツチームとの連携・協働

- ◆ プロスポーツチーム等や企業スポーツチームとの協働事業の開催
- ◆ プロスポーツチーム等や企業スポーツチームからの指導者派遣の充実

2 大学との連携・協働

- ◆ 地域スポーツ団体と大学の人材資源のコーディネート
- ◆ 大学施設の活用の検討
- ◆ 大学の持つ知識や見識の活用の検討

◆ III ・ スポーツ活動の顕彰

1 表彰制度等の実施・検討

- ◆ 仙台市スポーツ賞の実施
- ◆ 日常のスポーツ活動に対する奨励の実施の検討

2 スポーツに関する取り組みや成績の紹介

- ◆ 市民のスポーツに関する取り組みの紹介
- ◆ 地元アスリートの競技成績や活動の紹介

ひろがるスポーツ

◆ I ・ スポーツを通じた絆づくり

1 地域・世代を超えた交流の促進

- ◆ スポーツを通じた地域間交流の促進
- ◆ スポーツを通じた世代間交流の促進

2 市民が主体的に参画する地域スポーツの環境づくり

- ◆ 地域スポーツ団体の組織力向上に向けた支援の実施
- ◆ 多種目・多志向のスポーツ機会の提供

◆ II ・ スポーツによるまちの活性化

1 2020 東京オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツ気運の醸成

- ◆ 2020 東京オリンピック・パラリンピック等に関連するイベントの開催
- ◆ 2020 東京オリンピック・パラリンピック等に関連するキャンプの誘致

2 スポーツコミッションせんだい※の活用

- ◆ スポーツイベントの活性化と魅力の向上
- ◆ スポーツツーリズム※の推進

※スポーツコミッションせんだい
スポーツイベントの誘致と開催支援を通じて観光、あるいは交流人口の拡大や地域活性化を目的に設置された、スポーツ団体、企業、大学、行政等を構成団体とする組織。

※スポーツツーリズム
スポーツのイベントやスポーツのレジャーを観光資源として活用すること



Ⅱ 数値目標 Ⅱ

後期5年間においても計画を着実に推進し、その進捗状況や施策の成果を把握するため、引き続き数値目標を定めます。目標値は、社会情勢、市民ニーズの変化に加え、平成28年に実施した「仙台市スポーツに関する意識調査」等の結果をもとに、すべての目標において震災前の数値を上回るよう、一部見直しを行った上で設定しています。

1

15歳以上の市民のうち、週1回以上運動やスポーツを行う人の割合

36.4% → 31.1% → 40.0%

2

15歳以上の市民のうち、市や地域のスポーツ団体などが主催するスポーツ行事等に参加する人の割合

33.8% → 22.8% → 35.0%

3

15歳以上の市民のうち、年1回以上競技場でスポーツ観戦する人の割合

47.2% → 44.6% → 50.0%

4

15歳以上の市民のうち、スポーツボランティアなどの協力活動を行う人の割合

5.5% → 2.9% → 8.0%

5

仙台市立小学校の児童（5年生）のうち、週3回以上運動やスポーツを行う児童の割合

48.0% → 64.6% → 65.0%

6

全国・国際規模のスポーツ大会の開催数

年5回 → 年5回 → 年8回以上

※ H22 の調査結果 → H28 の調査結果 → H33 の目標値

平成29年4月

仙台市文化観光局文化スポーツ部スポーツ振興課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1

TEL：022-214-8889 FAX：022-213-3225

E-mail:sim004210@city.sendai.jp

<http://www.city.sendai.jp/kurashi/manabu/sports/index.html>